

「復興農学会」事務局会議（第 32 回） 議事録

文責 新田 洋司（福島大学）

日時 2021 年 4 月 26 日（月）17 時 40 分～18 時 25 分

方法 Zoom による Web 会議

出席者 伊藤 央奈（郡山女子大学）、溝口 勝（東京大学）、黒瀧 秀久（東京農業大学）、菅原 優（同）、大川 泰一郎（東京農工大学）、内田 修司（福島高専）、新田 洋司（福島大学）、石井 秀樹（同）、横山 正（同）
（敬称略）

議事録

1. 研究会・シンポジウム等の開催について（新田）

新田より昨年度開催された本会議で、本学会の講演会・研究会・シンポジウム等を開催し、学会誌の発行と日本農学会への入会について記者発表することについて継続審議となっていたことが照会された。また、現在復興庁で検討中の「国際教育研究拠点」に関する情報共有と意見交換をしてはどうか、さらには、復興庁の動きや意向を踏まえて開催を決定してはどうか等の意見があったことも加えて照会された。

審議の結果、以下のようにシンポジウム・記者発表を開催すること等が了承された。なお、下記のうち総会にかかる部分は、本会議後、新田が加筆した。

シンポジウム・記者発表・総会の開催について

震災・原子力災害から 10 年が経過し、復興農学会が設立 1 周年を迎えたことを契機に以下のように開催する。「国際教育研究拠点」設置にかかる情報共有・発信と意見交換も行う。

1. 日時 2021 年 6 月 26 日（土）13 時 00 分から

2. 場所・方法 Web

3. 内容

- (1) シンポジウム
- (2) 記者発表
- (3) 総会

- ・今回は一般講演等は実施しない。
- ・詳細については原案を福島大学で検討し、メールで審議して決定する。
- ・他学会、日本農学会等への「共催」、「後援」等を検討する。また、その依頼のための様式は福島大学で検討する。

2. 今後の事務局会議の開催について（新田）

新田より、本会議の今後の開催日について、過日、メンバーに意見を聴取した結果、下記のように集約されたことが報告され、確認された。

・次回（第 33 回）

日時 2021 年 5 月 26 日（水）17 時 30 分から（1 時間程度）

・次々回以降（第 34 回以降）

日時 各月の第 4 水曜日の 17 時 30 分から（1 時間程度）

3. 学会誌関係について（横山）

横山 客員教授より学会誌第1巻第2号の編集について、現在、原著論文の投稿を受け付けており（締め切り6月末）、積極的に投稿いただくよう依頼があった。また、同号には、6月26日に開催するシンポジウムに関する記事を掲載する予定であることが確認された。

黒瀧 教授より、東京農業大学 元副学長に総説の執筆・投稿を依頼してはどうかとの提案があり了承された。黒瀧 教授より同元副学長に依頼することとなった。また、東京農業大学編「東日本大震災からの農業復興支援モデル—東京農業大学10年の軌跡—」（ぎょうせい）についての「書評」執筆の提案があり、新田が執筆し投稿することが了承された。

石井 准教授より、市町村の首長のインタビュー記事の編集状況について報告があった。ライターの本間氏より体裁についての問合せがあったが、各首長の発言やその意図等を生かした形態とし、市町村間で統一する必要はないことが確認された。今後は、本間氏が編集を進め、首長および担当教員に原稿を確認してもらい進めることが確認された。

4. その他

なし

以上

今後の予定

- ・事務局会議（第33回） 2021年5月26日（水）17時30分～（1時間程度）Zoom 利用

「復興農学会」事務局会議（第33回）議事録

文責 新田 洋司（福島大学）

日時 2021年5月26日（月）17時30分～18時30分

方法 ZoomによるWeb会議

出席者 伊藤 央奈（郡山女子大学）、溝口 勝（東京大学）、杉野 弘明（同）、菅原 優（東京農業大学）、大川 泰一郎（東京農工大学）、小倉 振一郎（東北大学）、内田 修司（福島高専）、新田 洋司（福島大学）、石井 秀樹（同）、横山 正（同）（敬称略）

議事録

1. 研究会・シンポジウム等の開催について（新田）【資料】

新田より資料にもとづいて、6月26日（土）に開催予定の総会・シンポジウム・記者発表の実施概要（案）について提案があった。

審議の結果、▼13時00分より記者発表を行い、その後、総会を開催すること、▼シンポジウムは1部制として（休憩あり）、2題の話題提供で開催すること、▼話題提供者として、農研機構東北農業研究センター所長 羽鹿 牧太 氏、福島大学食農学類発酵醸造研究所 所長 松田 幹 教授に依頼すること、▼記者発表・総会とシンポジウムは別のZoomを立てること、が了承された。

また、▼総会資料は事前に（案）を作成して事務局会議の先生方にご確認いただくこと、▼福島大学の定例記者会見（6月2日）で開催についてプレスリリースすること、▼学会員へはWebとメーリングリストで情報提供・周知すること、が了承された。

2. 学会誌関係について（横山、石井）

(1) 原著論文等

横山 客員教授より、原著論文は1報が現在査読中であること、総説については執筆依頼した1報について現在執筆が進んでいることが報告された。また、東京農業大学副学長 門間 敏幸 名誉教授に執筆を依頼することが了承された。

(2) 市町村の首長のインタビュー記事

石井 准教授より、インタビュー記事の取りまとめがライター 本間 氏と各担当者との間で進んでおり、6月末までに原稿チェックが終えられるよう確認依頼があった。

(3) 広告

溝口 教授、横山 客員教授よりNTT 東日本より広告掲載の依頼があることが報告された。審議の結果、▼学会Webのトップページなどにリンクを張ったサムネイルを置き、そこから広告ページに飛ぶ方法がよいのではないか、などの意見があった。具体的な方法や、広告の申し込み方法等については事務局で原案を作成し、今後検討することとなった。

(4) その他

横山 客員教授より、書評は1報を準備中であることが報告された（「東日本大震災からの農業復興支援モデル—東京農業大学10年の軌跡—」：新田が準備中）。

3. 学会の諸業務について（新田）【資料】

新田より、本学会の諸業務の分担（おもに以下の2点）について提案があった。今後、総会資料と合わせて事務局から提案し検討することとなった。

(1) 庶務関係

- ・会員への諸連絡、会員情報整理、シンポジウム・総会の開催、総会資料の作成、事務局会議担当、Web管理、学会誌発行
担当者：★

(2) 会計関係

- ・会費徴収・集計業務
担当者：★
- ・ゆうちょ銀行口座情報
お客さま番号：0012-1446-44886、記号番号：振替：00140-5-488013（当座：〇一九店 488013）、残額：4,000円（2021年5月26日現在）
- ・新田の立て替え（合計 59,050円） 内訳：ゆうちょ銀行口座開設時の入金 2,000円、会長印・会計印 19,550円、日本農学会 2021年度分担金 37,500円

4 その他

- (1) 学会 Web へのフィールドカメラ映像ならびに「会員からの投稿」欄の掲載について
溝口 教授より、浜通りの圃場等に設置したカメラの映像ならびに「会員からの投稿」欄を学会 Web に掲載することについて提案があり、了承された。

以上

今後の予定

- ・事務局会議（第34回） 2021年6月23日（水）17時30分～（1時間程度）Zoom 利用
- ・事務局会議は毎月第4水曜日17時30分からを予定。

「復興農学会」事務局会議（第34回）議事

文責 新田 洋司（福島大学）

日時 2021年6月10日（木）～12日（土）

方法 メール

出席予定者 伊藤 央奈（郡山女子大学）、溝口 勝（東京大学）、杉野 弘明（同）、黒瀧 秀久（東京農業大学）、渋谷 往男（同）、菅原 優（同）、大川 泰一郎（東京農工大学）、小倉 振一郎（東北大学）、岩城 一郎（日本大学）、中野 和典（同）、内田 修司（福島高専）、青木 英二（同）、川妻 伸二（同）、鈴木 茂和（同）、登尾 浩助（明治大学）、丹野 史典（JST）、新田 洋司（福島大学）、石井 秀樹（同）、横山 正（同）、鈴木 伴承（福島イノベ機構）、影山 千尋（同）

欠席等連絡者
（敬称略）

議事

1. 学会 Web への広告掲載について（新田）【資料】

【説明】

資料（ワードファイル「広告」）の最初の四角内が「広告掲載について」で概要を記載したものです。2つめの四角内が「広告掲載規程」です。これらは、4 ページに掲載してる園芸学会の例を参考に作成し、溝口 先生、福島大学で協議したものです。ご検討をよろしくお願い申し上げます。

なお、たいへん恐縮ですが、総会での審議に先だって、お示しした線である企業様等からの広告掲載を先行実施したく存じます。

ご意見等がございましたら、このメールに返信する形で全員にご連絡をいただきたくお願い申し上げます。審議の締め切りを12日（土）とさせていただきます。

2. その他

以上

今後の予定

- ・事務局会議（第35回） 2021年6月23日（水）17時30分～（1時間程度）Zoom 利用
- ・事務局会議は毎月第4水曜日17時30分からを予定。

「復興農学会」事務局会議（第35回）議事録

文責 新田 洋司（福島大学）

日時 2021年6月23日（水）17時30分～18時25分

方法 ZoomによるWeb会議

出席者 伊藤 央奈（郡山女子大学）、溝口 勝（東京大学）、杉野 弘明（同）、黒瀧 秀久（東京農業大学）、菅原 優（同）、新田 洋司（福島大学）、石井 秀樹（同）、横山 正（同）、米倉 淳（福島イノベ機構）（同）
（敬称略）

会議の冒頭に米倉 淳 大学等連携コーディネーターよりごあいさつをいただいた。

議事録

1. 学会 Web への広告掲載について（新田）

新田より、2021年6月10～12日に開催（メール審議）された事務局会議で、企業等からの広告の掲載と広告費用等について審議され了承されたことが報告された。本件は、総会で審議されることが確認された。

つぎに、新田より、現在運用中の学会 Web の維持やコンテンツの作成には、2020年度まで福島大学「復興知」事業（※）の経費が使われており、この状態のままでは、企業等からの広告収入や会員からの会費徴収ができないことが説明された。しかし、本年度より本学会の運用に福島大学「復興知」事業の経費を充てず運用を「独立」させたいが、その件についてあす（6月25日）、イノベ機構と相談することになっていることが報告された。

審議の結果、まず、本学会の運用を「独立」させるべきであること、その上で会費収入や広告収入を徴収するべきであることが確認された。については、福島大学がイノベ機構との相談（6月25日）したのちに、その報告と提案等を行うこととなった。

※：福島イノベ機構より2021年5月に採択され実施。福島大学へは補助金として交付される予定。

2. 記者発表・総会・公開シンポジウムの開催について（新田）【資料】

新田より資料にもとづいて、6月26日（土）に開催予定の記者発表・総会・公開シンポジウムの開催の概要について以下のとおり報告があった。

・2021年6月26日（土）

13時00分	記者発表
13時20分ごろ	総会
14時00分ごろ	公開シンポジウム
16時30分	終了

・来学・取材予定報道機関等：読売新聞、福島民報、福島民友、日本農業新聞、福島放送（調整中）

なお、Webの操作を、記者発表・総会は杉野 助教が、公開シンポジウムは石井 准教授が担当することが確認された。

3. 総会資料について（新田）【資料】

新田より資料にもとづいて総会資料について報告された。なお、上記1. に関係する部分と、2021年度予算委関係する部分は、修正することが確認された。

4. 学会誌関係について（横山・石井）

横山 客員教授より、学会誌（7月発行予定）の編集状況について以下のように報告があった。

(1) 原著論文等

投稿が2報あり、1報は査読中、1報は著者が修正中。なお、さらに1報の投稿の可能性があるとの発言があった。

(2) 市町村の首長のインタビュー記事

浪江町長へのインタビュー記事の編集が進んでいること等が報告された。

(3) 広告

下記の2社・団体より依頼があるが、上記1. の関係で現在、保留とすることとなった。

- ・東日本電信電話株式会社 (NTT 東日本)
- ・NTC コンサルタンツ株式会社、SANSUI CONSULTANT、株式会社三祐コンサルタンツ、株式会社ジールコ、内外エンジニアリング株式会社、若鈴コンサルタンツ株式会社

(4) その他

- ・書評

下記の図書について準備中であることが報告された。

「東日本大震災からの農業復興支援モデル—東京農業大学10年の軌跡—」：新田が準備中

5. 学会の諸業務について (新田)

新田より、本学会の諸業務を分担してはどうかとの提案があった。審議の結果、庶務関係については溝口教授、杉野助教、新田で分担担当することとする、会計関係については後日あらためて検討することが了承された。

(1) 庶務関係

- ・会員への諸連絡、会員情報整理、シンポジウム・総会の開催、総会資料の作成、事務局会議担当、Web管理、学会誌発行

担当者：溝口教授、杉野助教、新田

(2) 会計関係

- ・ゆうちょ銀行口座管理
- ・会費徴収・集計業務

担当者：後日検討

6. その他

なし

以上

今後の予定

- ・事務局会議 (第36回) 2021年7月28日(水) 17時30分～(1時間程度) Zoom 利用
- ・事務局会議は毎月第4水曜日 17時30分からを予定。

「復興農学会」事務局会議（第36回）議事録

文責 新田 洋司（福島大学）

日時 2021年7月28日（水）17時30分～★時★分

方法 ZoomによるWeb会議

出席予定者 伊藤 央奈（郡山女子大学）、溝口 勝（東京大学）、杉野 弘明（同）、黒瀧 秀久（東京農業大学）、渋谷 往男（同）、菅原 優（同）、大川 泰一郎（東京農工大学）、小倉 振一郎（東北大学）、岩城 一郎（日本大学）、中野 和典（同）、内田 修司（福島高専）、青木 英二（同）、川妻 伸二（同）、鈴木 茂和（同）、登尾 浩助（明治大学）、丹野 史典（JST）、石井 秀樹（福島大学）、横山 正（同）、鈴木 伴承（福島イノベ機構）、米倉 淳（同）、影山 千尋（同）

欠席等連絡者 新田 洋司（福島大学）、
（敬称略）

議事（案）

1. 学会誌関係について（横山）

(1) 編集状況（第2号。7月31日発行）

原著論文：2報

レビュー：2報

現場からの報告：1報

オピニオン（首長インタビュー）：1報確定

シンポジウム抄録：2報

総会報告：1報

書評：1報

(2) 第3号の準備状況

投稿査読中 原著論文：1報

(3) 広告等の掲載

現在、復興農学会 Web を福島大学補助事業からの「切り離し」作業をしていることから、完了ししだい掲載する。

2. 学会費の徴収について（横山）

現在、復興農学会 Web を福島大学補助事業からの「切り離し」作業をしていることから、完了ししだい徴収できるようにしたい。

3. 学会の諸業務について（横山）

(1) 庶務関係

・会員への諸連絡、会員情報整理、シンポジウム・総会の開催、総会資料の作成、事務局会議担当、Web管理、学会誌発行

担当者：溝口 教授、杉野 助教、新田

(2) 会計関係

・ゆうちょ銀行口座管理

・会費徴収・集計業務

担当者：後日検討

4. その他

以上

今後の予定

- ・事務局会議（第37回） 2021年8月25日（水）17時30分～（1時間程度）Zoom 利用
- ・事務局会議は毎月第4水曜日17時30分からを予定。

「復興農学会」事務局会議（第37回）議事録

文責 新田 洋司（福島大学）

日時 2021年8月25日（水）17時30分～18時10分

方法 ZoomによるWeb会議

出席者 溝口 勝（東京大学）、杉野 弘明（同）、黒瀧 秀久（東京農業大学）、菅原 優（同）、大川 泰一郎（東京農工大学）、小倉 振一郎（東北大学）、内田 修司（福島高専）、新田 洋司（福島大学）、石井 秀樹（同）、横山 正（同）
（敬称略）

議事録

1. 学会誌関係について（横山、石井）

横山 特任教授より、第3号（2022年1月発行予定）の投稿論文原稿の編集状況等について報告があった。また、論文原稿の積極的な投稿の依頼があった。

石井 准教授より、首長へのインタビュー記事の編集状況等について報告があった。葛尾村長記事は小倉教授、飯館村長記事は溝口 教授と確認・連携して進めることが確認された。

2. その他

(1) 東京農業大学「浪江町復興講座」開催について（黒瀧）

黒瀧 教授より、8月に予定していた「浪江町復興講座」が、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で9月24日（金）・25日（土）に延期になったことが報告された。また、本学会の「研究例会」として開催することが確認された。

(2) 浜通り地域における活動状況等について

浜通り地域における各大学等の「復興知」事業等の活動状況について意見交換があった。コロナ下にあつて活動が大幅に制限され、現地へ限られた人数で訪問していること、田植えなどの作業はバーチャルで実施したこと、イベントが延期になったこと等が報告された。

以上

今後の予定

- ・事務局会議（第38回） 2021年9月22日（水）17時30分～（1時間程度）Zoom 利用
- ・事務局会議は毎月第4水曜日17時30分からを予定。

「復興農学会」事務局会議（第38回） 議事（案）

文責 新田 洋司（福島大学）

日時 2021年9月22日（水）17時30分～18時10分

方法 ZoomによるWeb会議

出席者 溝口 勝（東京大学）、杉野 弘明（同）、大川 泰一郎（東京農工大学）、内田 修司（福島高専）、
新田 洋司（福島大学）、石井 秀樹（同）、横山 正（同）
（敬称略）

議事録（案）

1. 学会誌・編集委員会関係について（横山）

(1) 編集委員および編集体制について

編集委員長の横山 特任教授より、安達 俊輔 会員（東京農工大学准教授）を編集委員に選任したいこと、また、編集委員会では主要な業務を担当する副編集委員長を担当いただきたいこと、さらに、次回から本会議への出席を依頼するとともに、本学会誌のJ-STAGEへの登録を進めてほしい意向であること等が説明された。審議の結果、了承され、安達 准教授には副編集委員長として尽力いただくこととなった。

(2) 第3号編集状況について

横山 特任教授より、現在、2報の査読が進んでいること、首長のインタビュー記事は、飯舘村、葛尾村、広野町の記事の確認作業が進んでいること等が報告され確認された。

2. 日本農学会関係について（新田）【資料】

(1) 日本農学会総会・日本農学賞選考委員会の開催と出席について

新田より資料にもとづいて、日本農学会総会および日本農学賞選考委員会の開催案内と出席依頼が届いていることが報告された（下記）。審議の結果、生源寺 会長に出席を依頼し、日程等を確認することが了承された。

日時 2022年2月11日（金・祝）10時00分ごろ～18時00分ごろ

開催方法 未定（対面式の場合は、東京大学農学部3号館4回会議室または弥生講堂）

本学会からの出席者 1名

(2) 日本農学賞受賞候補者の推薦について

新田より資料にもとづいて、日本農学会より日本農学賞受賞候補者の推薦依頼が届いていることが報告された。また、受賞候補者の推薦は、1学会から1名であること、1名の候補者を複数の学会で共同推薦は可能であることもあわせて報告された。

加えて、新田より、他学会より本学会に、候補者の共同推薦の依頼が届いていることが報告された。本件の進め方について審議の結果、本学会は学会賞等の授与・推薦規程が未整備であり、なるべく早く整備する必要があることが確認された。また、他学会よりの候補者については、まずは本学会に入会していただきたいこと、また、本学会の学会賞等の授与・推薦規程を次回の本会議で仮決定した上で本学会としての推薦の手続きをすすめることが了承された。

なお、日本農学賞受賞候補者の推薦書類の提出方法等は以下のとおりである。

締め切り 2021年11月30日（火）

提出先 日本農学会事務局（東京大学農学部内）

3. その他

なし

以上

今後の予定

- ・事務局会議（第39回） 2021年10月27日（水）17時30分～（1時間程度）Zoom利用
- ・事務局会議は毎月第4水曜日17時30分からを予定。

「復興農学会」事務局会議（第39回）議事録

文責 新田 洋司（福島大学）

日時 2021年10月29日（水）17時30分～18時25分

方法 ZoomによるWeb会議

出席者 溝口 勝（東京大学）、杉野 弘明（同）、大川 泰一郎（東京農工大学）、安達 俊輔（同）、新田 洋司（福島大学）、横山 正（同）
（敬称略）

議事に先だつて、今回より事務局会議に出席する安達 俊輔 編集副委員長（東京農工大学准教授）よりあいさつがあった。

議事録

1. 学会誌・編集委員会関係について（横山、安達）

(1) 編集委員および編集体制について

横山 特任教授より安達 准教授が編集副委員長として業務を担当していること等が報告された。

(2) 第3号編集状況について

横山 特任教授より、現在、投稿論文原稿2報の査読が終了したこと、さらに、総説、「現場からの報告」などで原稿の投稿を期待していることが報告された。杉野 助教より論文の投稿準備を進めていることが紹介された。また、新田より、福島大学食農学類で実施している授業「食農実践演習」を含む食農実践演習について、浜通り地域での学生等の取組みを「現場からの報告」等で紹介してはどうかとの意見があった。引き続き、編集委員会で業務を進め検討することが確認された。

(3) J-STAGE への登録について

安達 准教授より、本学会誌のJ-STAGE への登録の手続きを進めていることが報告された。なお、論文採択率を報告する必要があり、100%に近いなど極端な高採択率では都合が悪いのではないかと情報があつたが、必ずしもそうではないことが確認されたとの報告があつた。

2. 学会賞等の選考規定について（新田）【資料】

新田より資料にもとづいて、本学会の学会賞等の選考規定（案）について、事務局会議メンバーでメール審議した結果、修正意見等はなかったこと等が報告された。審議の結果、原案のとおり了承され、本日より暫定的に施行することとなった。なお、直近の総会で報告されることが確認された。

3. 日本農学会関係について（新田）【資料】

(1) 日本農学会総会・日本農学賞選考委員会の開催と出席について

新田より、日本農学会総会および日本農学賞選考委員会が下記の日程で開催され、生源寺 会長が出席予定であることが報告された。

日時 2022年2月11日（金・祝）10時00分ごろ～18時00分ごろ

開催方法 未定（対面式の場合は、東京大学農学部3号館4階会議室または弥生講堂）

本学会からの出席者 生源寺 会長

(2) 日本農学賞受賞候補者の推薦について

新田より、学会賞等の選考規定が未整備であったことから審議保留となっていた日本農学賞受賞候補者の推薦について審議された。まず、受賞候補者の推薦は各学会から1名で、1名の候補者を複数の学会で

共同推薦することが可能であることが確認された。

新田より、農村計画学会より広田 純一 岩手大学名誉教授の共同推薦の提案があることが報告された。業績等を確認し、審議の結果、本学会として同名誉教授を推薦することが了承された。

なお、推薦申請書等は、農村計画学会の表彰推薦関係担当理事 服部 俊宏 明治大学農学部専任准教授が中心になって準備する予定であることが報告された。

4. その他

(1) 福島大学「復興知」事業関係のご案内

新田より、福島大学「復興知」事業の開催について、以下の通り紹介された。

- ・ 11月29日(月) 16時30分 福島フォーラム
林 薫平 准教授(農林資源経済論)が話題提供。Web 配信。
- ・ 12月2日(木) 13時30分 「大熊町分科会」
大阪大学、長崎大学、東京大学、立命館大学、福島大学。シンポジウム開催。福島大学からは大熊町
営農再開ビジョン策定委員会委員長 深山 陽子 准教授が話題提供。Web 配信。

(2) 「国際教育研究拠点」について

溝口 教授、大川 教授より、「国際教育研究拠点」設置等にかかる国等による検討状況や情報について情報交換があった。おもてだった動きはいまはないが、来年度予算に関係することもある年内ぐらいには動きがあることが予想されること、また、復興庁等から情報提供依頼などがある可能性があること、等が紹介された。

(3) 松塚土壌博物館(飯館村)の見学等について

横山 特任教授より、溝口 教授が館長をつとめる松塚土壌博物館の見学方法等について照会があった。溝口 教授より、ふだんは無人であるが見学はできること、ホームページに詳しい情報が掲載されていること等が紹介された。

以上

今後の予定

- ・ 事務局会議(第40回) 2021年11月24日(水) 17時30分～(1時間程度) Zoom 利用
- ・ 事務局会議は毎月第4水曜日 17時30分からを予定。

「復興農学会」事務局会議（第40回）議事録

文責 新田 洋司（福島大学）

日時 2021年11月24日（水）17時30分～18時35分

方法 ZoomによるWeb会議

出席者 溝口 勝（東京大学）、杉野 弘明（同）、黒瀧 秀久（東京農業大学）、安達 俊輔（東京農工大学）、小倉 振一郎（東北大学）、内田 修司（福島高専）、新田 洋司（福島大学）、石井 秀樹（同）、横山 正（同）
（敬称略）

議事録

1. 学会誌・編集委員会関係について（横山、安達）

(1) 第3号編集状況について

横山 特任教授より、現在、2報の審査が進んでおり、著者が修正中であること、3名の会員に執筆を依頼していることが報告された。石井 准教授より、葛尾村長、飯舘村長のインタビュー記事は、現在、内容を確認中であることが報告された。また、学生が論文の投稿を予定しているとの情報があり、投稿されるのを待ち、投稿されれば審査を迅速に進めることが確認された。

(2) J-STAGE への登録について

安達 准教授より J-STAGE への登録を進めていること、登録するための条件はクリアしていて問題はないこと等について報告があった。

2. 講演会の開催について（新田、横山）

新型コロナウイルス感染症の拡大がおさまりつつあり、会議や会合等が対面で実施されるようになってきたこともあって、講演会等の今後の開催について審議した。

その結果、卒業論文、修士論文等の成果がまとまり発表しやすい時期であることから、初回は2022年3月が適当とのこととなった。3月18日（金）に、今回はWebで開催することとなった。

また、講演要旨について、講演会で発表後、学会誌に転載が可能になることに加え、以降の論文化の際、論文がオリジナリティを有するようにするため、講演要旨では詳細な記載は避けた方がよいこと等から、講演要旨はタイトル（和文、英文）等を含めてA4判1ページ以内とすること等が了承された。なお、講演要旨の様式（スプレッドシート、テンプレートなど）等については、杉野 助教、横山 特任教授が検討することとなった。

3. その他

(1) 日本農学賞受賞候補者の推薦について（新田）

新田より、推薦書類は農村計画学会が原案を作成したのち新田が確認し、学会長印を押印後、農村計画学会に送付したこと（11月22日）、農学会の締め切りは11月30日であることが報告された。

(2) 福島大学「復興知」事業関係のご案内（新田・横山）

新田より、下記のとおり、福島大学の「復興知」事業の開催案内があった。

・11月29日（月）16時30分 福島フォーラム

林 薫平 准教授（農林資源経済論）が話題提供。Web 配信。

・12月2日（木）13時30分 「大熊町分科会」

大阪大学、長崎大学、東京大学、立命館大学、福島大学。シンポジウム開催。福島大学からは大熊町営農再開ビジョン策定委員会委員長 深山 陽子 准教授が話題提供。Web 配信。

(3) 復興庁の「国際教育研究拠点」資料について（溝口）

溝口 教授より、復興庁が公開している「国際教育研究拠点の検討状況」資料の「農林水産分野の研究テーマのイメージ」（農水省提出資料）について、「きわめて平凡なものであり、福島でなくてもできるものである。福島農林水産業の復興に貢献できるものではない。については、復興農学会で復興庁にたいして意見を申し述べてはどうか？」との提案があった。

復興推進委員会（第38回）（2021年11月18日）の「資料1-1 国際教育研究拠点の検討状況」

<https://www.reconstruction.go.jp/topics/main-cat7/sub-cat7-2/20211111115715.html>

審議の結果、復興農学会として復興庁に意見を申し述べるのが適当とのこととなった。については、生源寺 会長に相談し、可能であれば溝口 教授が意見書の原案をつくり、メンバーで確認して送付するよう進めることとなった。

(4) 本会議の次回以降の開催について

事務局会議メンバーの諸状況を鑑み、次回以降の開催を下記のようにすることとなった。また、メンバーは都合が合わない等の場合は新田に連絡することとなった。

- ・事務局会議（第41回） 2021年12月22日（水）18時30分～（1時間程度）Zoom 利用
- 第42回以降は、毎月第4水曜日18時00分からとする。
- 第42回 2022年1月26日（水）18時00分からを予定。

「復興農学会」事務局会議（第41回）議事録

文責 新田 洋司（福島大学）

日時 2021年12月22日（水）18時30分～19時25分

方法 ZoomによるWeb会議

出席者 伊藤 央奈（郡山女子大学）、溝口 勝（東京大学）、杉野 弘明（同）、黒瀧 秀久（東京農業大学）、菅原 優（同）、大川 泰一郎（東京農工大学）、新田 洋司（福島大学）、横山 正（同）
（敬称略）

議事録

1. 学会誌・編集委員会関係について（横山）

(1) 第3号編集状況について

横山 特任教授（編集委員長）より原著論文は2報が受理見込み、1報が審査中であること、また、さらに2報について投稿を依頼しており掲載される可能性があることが報告された。

首長インタビュー記事について、葛尾村長記事は安達 准教授（副編集委員長）が体裁を合わせ、横山 特任教授が最終確認をして、現在、同記事担当の石井 准教授が最終確認をしていること、また、飯館村長記事についても記事を確認注であることが報告された。

(2) J-STAGE への登録について

横山 特任教授より、現在、安達 准教授がJ-STAGE への登録について調査中であること、とくに問題はないと判断されること等が報告された。

2. 講演会の開催について（新田、杉野、横山）

新田、横山 特任教授、杉野 助教より、3月の講演会の開催の概要について報告があり、確認された。当日は9時00分より開催することが了承された。また、杉野 助教より、講演要旨を投稿するためのGoogleフォームについて、現在、作成・調整中であることが報告された。

開催概要

日時	2022年3月18日（金）9時00分から
方法	Web
講演要旨	タイトル（和文、英文）等を含めてA4判1ページ以内。様式（スプレッドシート、テンプレートなど）等については、杉野 助教、横山 特任教授が検討。
発表時間	未決定（発表12分 or 15分？ 質疑応答3分 or 5分？ など）

3. その他

(1) 「国際教育研究拠点」にかかる復興庁への要望書提出について（溝口）【資料】

溝口 教授より資料にもとづいて、復興庁への要望書が12月10日（金）に担当参事官に提出されたことが報告された。また、同参事官より、復興庁に公式文書として残す場合には学会長印を押した文書を提出するようとの指摘があり、審議の結果、事務局が押印等をして公式文書として提出することとなった（送付先は復興庁大臣秘書室）。

また、溝口 教授より、本件の今後の進め方について提案があり審議した。その結果、以下のように進めることが了承された。

- ・学会のホームページに要望書を公開する（溝口 教授担当）。
- ・Google フォームを使って会員から具体的な研究テーマを集める（溝口 教授担当）。
- ・3月18日開催の講演会の際、本件について報告し議論する。

(2) 日本農学賞受賞候補者の推薦および日本農学会総会・日本農学賞選考会について（新田）【資料】
新田より資料にもとづいて、日本農学賞受賞候補者として広田 純一 会員・名誉教授を農村計画学会と共同推薦したことが報告された。また、日本農学会総会・日本農学賞選考会が2022年2月11日（金・祝）に開催され、生源寺 会長が出席することが報告された。

(3) 日本農学会シンポジウムにおける話題提供について（新田）【資料】
新田より日本農学会シンポジウムが下記のとおり開催されること、話題提供が募集されていることが報告された。本学会からの話題提供については、次回（1月26日）の本会議で再度審議することとなった。

日本農学会シンポジウム

日時 2022年10月1日（土）10時00分から
会場 東京大学弥生講堂・オンライン
テーマ カーボンニュートラルの達成に向けた農学研究
話題提供募集
・ 話題タイトルと概要（100字程度）
・ 講演者
・ 締め切り 2022年1月28日（金）

(4) 事務局会議へのメンバー参加について（新田）
新田より福島大学「復興知」事業の研究員 佐伯 爽（さえき あきら）氏を事務局会議のメンバーとして参加していただきたいとの検討依頼があった。審議の結果了承され、同研究員には次回（1月26日）の本会議から参加していただくこととなった。

(5) その他
なし

以上

今後の予定

- ・ 事務局会議は第42回以降は毎月第4水曜日 18時00分から。
事務局会議（第42回） 2022年1月26日（水）18時00分から
事務局会議（第43回） 2022年2月23日（水）18時00分から

「復興農学会」事務局会議（第42回）議事録

文責 新田 洋司（福島大学）

日時 2022年1月26日（水）18時00分～18時45分

方法 ZoomによるWeb会議

出席者 溝口 勝（東京大学）、杉野 弘明（同）、黒瀧 秀久（東京農業大学）、大川 泰一郎（東京農工大学）、
安達 俊輔（同）、小倉 振一郎（東北大学）、新田 洋司（福島大学）、佐伯 爽（同）
（敬称略）

議事に先立ち、本日の会議より出席する佐伯 爽 研究員（福島大学）よりあいさつがあった。

議事録

1. 学会誌・編集委員会関係について（安達、新田）

(1) 第3号編集状況について

新田より横山 特任教授からの事前報告にもとづいて報告と説明があった。また、安達 准教授から報告と説明があった。概要は以下のとおりであった。

・原著論文3報、オピニオン2報（葛尾村、飯舘村）が掲載準備中

なお、「オピニオン」（首長インタビュー）について、既刊の記事は、発言者名で改行されて次行に発言内容が記されているが、▼発言者名の直後に“：”などを入れて発言内容をつづける、または、▼発言者名を太字にして直後にスペースを入れ発言内容をつづける、などがよいのではないかとの意見があった。編集委員会で検討することとなった。

また、2021年度研究会の開催案内を、学会ホームページおよび発表希望者入力フォームにもとづいて掲載することが確認された。掲載内容（下記 2. に関連）は編集委員会が原案を作成し、事務局会議メンバーが確認して進めることとなった。

(2) J-STAGE への登録について

安達 准教授よりひきつづき準備を進めていることが報告された。

2. 研究会の開催について（杉野）

3月18日（金）9時から開催予定の研究会について、学会ホームページに掲載されている情報および発表希望者入力フォーム情報にしたがって進めることが確認された。

なお、既公開情報のうち下記のようなあいまいな表現は修正することが確認された。

・応募締め切り日およびプログラム公開予定日：“〇月〇日頃”となっているが“頃”を削除

・発表時間：“（予定）”を削除

また、「フォーム」の編集権限を学会誌編集委員会（安達 准教授）が必要な場合は、杉野 助教に連絡することとなった。

3. その他

(1) 日本農学会シンポジウムにおける話題提供について（新田）

新田より日本農学会シンポジウムが下記のとおり開催されること、話題提供が募集されており、本学会からの話題提供について本日の会議で再度審議することになっていたことが照会された。

審議の結果、溝口 教授が発表をエントリーすることとなり、手続きを進めることとなった（溝口 教授が作成した「話題タイトルと概要」を、新田が日本農学会事務局に送付）。

日本農学会シンポジウム

日時 2022年10月1日(土)10時00分から

会場 東京大学弥生講堂・オンライン

テーマ カーボンニュートラルの達成に向けた農学研究

話題提供募集

・話題タイトルと概要(100字程度)

・講演者

・締め切り 2022年1月28日(金)

(2) 「国際教育研究拠点」にかかる動きや情報について

溝口教授より「国際教育研究拠点」の「農林水産業分野」にかかる概算要求の結果内示や他の情報はなにかとの話題提供の依頼があり議論した。その結果、東京大学、東北大学、東京農工大学、福島大学では現在のところ該当する情報は得られていない状況との情報が交換された。本件については学会として引き続き注視することが確認された。

(3) アメリカ土壌科学会合同シンポジウムについて

溝口教授より、アメリカ土壌科学会合同シンポジウムが、「福島放射性降下物への対応：土壌汚染の10年を振り返って」をテーマにWebで開催され、溝口教授を含む日本人8名、米国人1名が発表したこと、動画等が本学会のホームページにアップされていること等が報告された。

(4) 次回の事務局会議について

次回の事務局会議(定例)の開催予定日は祝日(2月23日(水))であるが、予定どおり開催するかどうか確認した。審議の結果、予定どおり開催することとなった。

以上

今後の予定

・事務局会議は第42回以降は毎月第4水曜日18時00分から。

事務局会議(第43回) 2022年2月23日(水・祝)18時00分から

事務局会議(第44回) 2022年3月23日(木)18時00分から

「復興農学会」事務局会議（第 43 回） 議事録

文責 新田 洋司（福島大学）

日時 2022 年 2 月 23 日（水・祝）18 時 00 分～18 時 45 分

方法 Zoom による Web 会議

出席者 溝口 勝（東京大学）、杉野 弘明（同）、黒瀧 秀久（東京農業大学）、安達 俊輔（東京農工大学）、小倉 振一郎（東北大学）、新田 洋司（福島大学）、横山 正（同）、佐伯 爽（同）
（敬称略）

議事録

1. 学会誌・編集委員会関係について（横山、安達）

横山 特任教授より、第 2 巻第 1 号を 1 月 31 日に発行したことが報告された。また、第 2 巻第 2 号（7 月発行予定）の編集状況について、原著論文 1 報および総説 1 報が投稿される予定であること、研究会（3 月 18 日開催）の講演要旨を掲載予定であること等が報告された。なおも論文の投稿を歓迎するとの発言もあった。

安達 准教授より、J-stage への登録手続きが進み最終段階になってきていること、登録されれば第 1 巻から掲載されることになること等が報告された。

2. 研究会の開催について（杉野、横山）

3 月 18 日（金）に開催する研究会について準備状況の確認と今後の進め方について検討した。杉野 助教より、現時点においては発表者の登録はないことが報告された。

研究会開催についての会員へのリマインド連絡、研究会のプログラム作成と周知、講演要旨の準備と発行、Web システムの準備と運用、発表方法の検討と準備などを進める運営委員会が必要であることが確認され、委員メンバーとして横山 特任教授、安達 准教授、杉野 助教、佐伯 研究員が選任された。また、学会ホームページに研究会のページが確認され、溝口 教授が作成することとなった。今後は、運営委員会メンバーが準備等を進め、適宜、状況等について事務局会議メンバーにメールで報告すること等が確認された。

また、今回の研究会では発表と参加は非会員や学生でも可能であること、参加講演要旨を当日までに配布・閲覧できるようにすることが確認された。

3. 日本農学賞関係について（新田）

新田より、2 月 11 日（祝・金）に開催された日本農学賞選考会議に生源寺 会長が出席したこと、本学会より農村計画学会と共同推薦した会員が選考されなかったことが報告された。

4. その他

(1) 本学会と福島大学「復興知」事業が別組織運営されていることのイノベ機構等への説明について

本学会と福島大学「復興知」事業は現在、完全に別組織で運営されているが、2020 年度福島大学「復興知」事業で本学会のホームページ運用経費の一部を使用したことなどから、イノベ機構等では完全別組織運営であることの理解が不十分であり、福島大学から説明が必要であることが再度報告された。このことについて、横山 特任教授、新田より、現在説明のための準備を進めていること等が報告された。

以上

今後の予定

・事務局会議は第 42 回以降は毎月第 4 水曜日 18 時 00 分から。

事務局会議（第 44 回） 2022 年 3 月 23 日（木）18 時 00 分から

「復興農学会」事務局会議（第 44 回） 議事録

文責 新田 洋司（福島大学）

日時 2022 年 3 月 23 日（水）18 時 00 分～18 時 50 分

方法 Zoom による Web 会議

出席者 溝口 勝（東京大学）、杉野 弘明（同）、内田 修司（福島高専）、新田 洋司（福島大学）、石井 秀樹（同）、佐伯 爽（同）
（敬称略）

議事録

1. 研究会の開催について（溝口、杉野、佐伯）

溝口 教授、杉野 助教、佐伯 研究員より、去る 3 月 18 日（金）に研究会が無事、盛会裡に開催されたことが報告された。講演題数は 26 題、Web 上で確認できた参加者数は最大で 54 名、平均で 40 名程度であった。総合討論では活発に意見が交換された。また、すべての発表と総合討論が YouTube にアップされ学会 Web からリンクが張られていること、参加者にアンケート調査が実施されたことも合わせて報告された。

2. 日本農学会シンポジウムにおける講演決定と企画委員の選出について（新田）

新田より、来る 10 月 1 日に日本農学会主催のシンポジウムが開催されるが、本学会から提案していた話題提供が採用されたことが報告された。概要は以下のとおり。

また、本学会から本シンポジウムにかかる企画委員を選出する必要がある、審議の結果、杉野 助教に担当いただくことが了承された。

・2022 年度日本農学会シンポジウム

全体テーマ：カーボンニュートラルの達成にむけた農学研究

開催日時：2022 年 10 月 1 日（土）10 時 00 分から

会場：東京大学弥生講堂 オンライン配信など

参加対象：一般（高校生、社会人など）、大学生・大学院生、若手研究者

後援：東京大学大学院農学生命科学研究科、（公財）農学会

本学会から話題提供：

溝口 勝 教授（東京大学大学院農学生命科学研究科）

演題：地域バイオマスを活用した堆肥づくりと除染後農地土壌の肥沃度向上

3. 来年度の事務局会議開催について（新田）

新田より来年度の本会議の開催について、開催頻度、曜日・時間等についての検討依頼があった。審議の結果、開催頻度は原則として月 1 回とすることが了承された。また、開催曜日・時間については「伝助」で意見聴取して検討することとなり、後日、新田が設定しメンバーに連絡することとなった。

4. その他

（1）来年度の「復興知」事業の審査結果に付された全事業にたいする「付帯意見」について（溝口）

溝口 教授より、来年度の「復興知」事業の審査（3 月 18 日）の結果、すべての事業にたいして「付帯意見」が付され、その中に、「農業分野の取組」として以下の指摘（枠内）があったが、復興農学会メンバーでもある農学分野の「復興知」事業実施大学は、当然このことを考慮して事業を進めており、そのような意見が出された理由や、何をさらに求めようとしているのかが不明であるとの照会があった。

○今後の活動にあたって、SDGs や環境を念頭に置いた人材育成に一層力を入れてもらいたい（特に、農業分野の取組は、みどりの食料システム戦略を念頭においてほしい）。

このことについて意見交換した。概略、以下のような意見が出された。▼農学系の「復興知」事業実施大学は去る12月10日に、復興農学会をとおして復興大臣あてに「国際研究教育拠点における農林水産分野の研究に関する要望書」を提出しており、その中に「付帯意見」で指摘されたことは十分に含まれているが、イノベ機構がどうしてこのような意見を出したのかが、さらに何を求めているのかがわからない、▼本学会としてイノベ機構にそのあたりを問い合わせるかどうか、▼問い合わせや意見を申し述べる際、この付帯意見は本学会あてではなく「復興知」事業実施大学に付されたものであることから、後者から発出するのがよいのではないか、▼イノベ機構に何らかの形で意見を申し述べないと「復興知」事業実施大学の事業が誤解されるおそれがある。

審議の結果、イノベ機構にたいする「意見書」をとりまとめ、農学分野の「復興知」事業実施大学から連名で提出してはどうかとのことになった。なお、「意見書」の文書は東京大学 溝口 教授がとりまとめ、新田が農学系の「復興知」事業実施大学関係者に意見聴取をし進めることとなった。

5. その他

なし

以上

今後の予定

- ・事務局会議（第45回） 2022年4月★日（★）★時★分から
（後日、「伝助」で日程について意見を聴取して決定）